

## 安全性向上に向けての基本理念

- ・ 今回のような事故を二度と起こさないため、再発防止に向け、全力を挙げて取り組むことが、当社に課せられた最大の使命であります。
- ・ その際、再発防止の取り組みにあたっては、 で列挙した諸課題に対し、ソフト・ハード両面から、それぞれに対応する手立てを講じるとともに、それと並行して、当社社員が共有している価値観であり、行動指針でもある経営理念の見直しを行うことにより、企業風土全体を「安全を最優先する」ように変革しなければなりません。
- ・ 当社としては、安全性向上に向けての基本理念を「安全を最優先する企業風土の構築」と定め、経営陣が先頭に立ち、以下の基本的な考え方に基づき推進することとします。

安全が何よりも優先すべきであることを、会社として徹底する。

現場と本社の一体感を強化すべく、トップ自らが現場に出向き、双方向のコミュニケーションに努め、風通しの良い職場づくりに努める。

安全を支える現場において、上司・部下のコミュニケーションにより、信頼関係を構築する。

安全対策・事故防止策の推進にあたっては、原因並びに背景を根本に遡って分析したうえで、対策を確立していく。

ハード面における安全対策について、全力を挙げて推進する。

- ・ 具体的な取り組みについては次章で述べますが、概要を図示すると、次の通りです。

## 反省すべき点・課題

### 1. 風土・価値観

「安全」を最優先とする意識

### 2. 「事故の芽」等の報告に対する対応方

### 3. 教育・指導のあり方

### 4. 情報伝達・共有のあり方

- (1) 業務運営を直接支える現場と経営トップとの双方向コミュニケーション
- (2) 現場の情報連絡

### 5. これまでの事故再発防止策の取り組み方

- (1) 対処療法的な再発防止対策と「安全を先取りした対策」の不足
- (2) 責任追及型の対策への傾斜と事故の背景の分析の不足
- (3) 危機管理意識の不足

### 6. 運行面・設備面での安全対策

- (1) ダイヤ編成
- (2) ヒューマンエラーを補う設備面の整備
- (3) 車両配置

基本的考え方

## 安全を最優先する企業風土の構築に向けて

### 1. 風土・価値観の変革に向けた取り組み

- (1) 「安全最優先」の徹底
- (2) 企業コンプライアンスの確立

### 2. 「事故の芽」等の報告に対する対応方の是正

### 3. 教育・指導のあり方の見直し

- (1) 管理者教育の充実
- (2) 人材育成・教育制度の見直し

### 4. 情報伝達・共有のあり方の見直し

- (1) 経営トップと現場との直接的意見交換の推進
- (2) セーフティ・マネジメント会議の新設
- (3) 業務指示・相互確認等の徹底による確実な業務遂行
- (4) 現場情報の支社・本社伝達システムの整備

### 5. 事故再発防止に向けた取り組み

- (1) 社長直属の社長特別補佐の新設
- (2) 安全推進部の機能強化等
- (3) 社外有識者からなる安全諮問委員会の設置
- (4) 危機管理体制の確立

### 6. 運行面・設備面での安全対策

- (1) 緊急安全対策  
ATS-SW(速度照査機能付)の整備  
列車ダイヤの見直し  
ATS-P型の整備促進等
- (2) 設備の信頼性向上の早期実施  
老朽取替の促進  
車両運用の弾力性向上  
地震・防災対策等

7. 新たな経営理念の策定と全社員への浸透